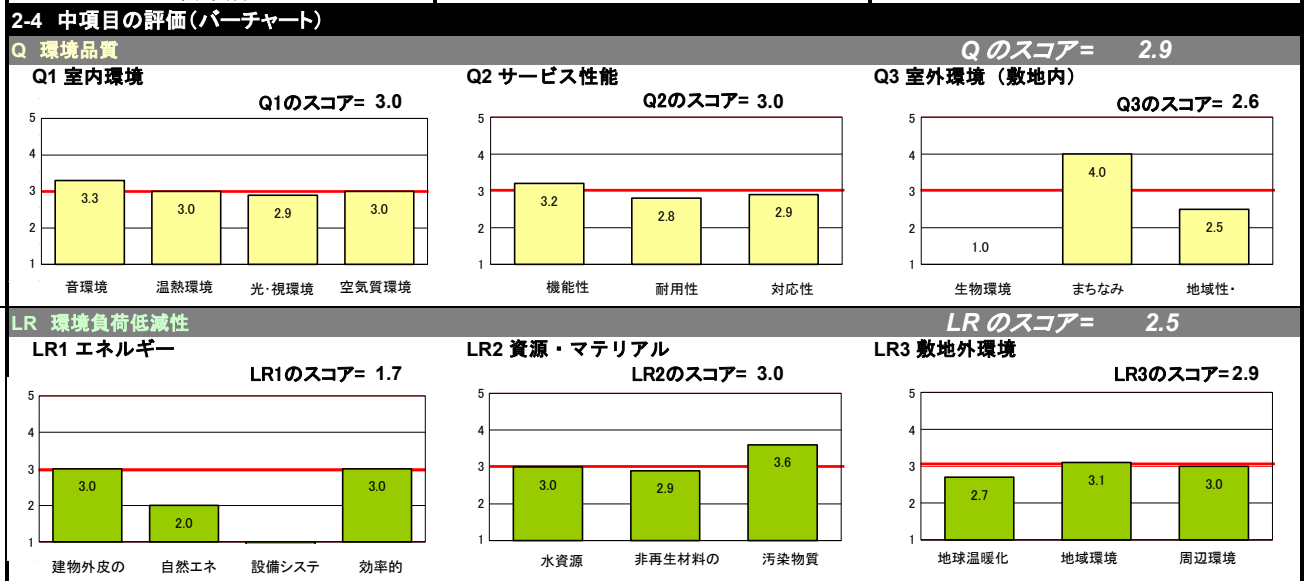
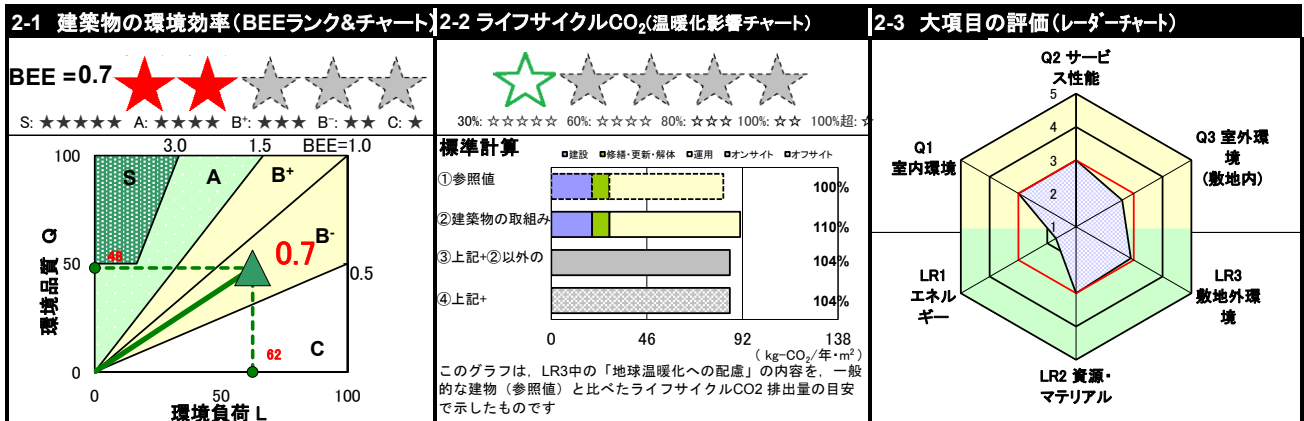


CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2015年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 京都西院 新築工事	階数	地上5F
建設地	京都市中京区壬生西土居ノ内町24番3 他	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	65 人
気候区分	6地域	年間使用時間	5,840 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2017年2月1日
敷地面積	836 m ²	作成者	今井 英雄
建築面積	489 m ²	確認日	2017年4月15日
延床面積	2,215 m ²	確認者	(株)京都確認検査機構



3 設計上の配慮事項		
総合 ●景観課との打合せにより、街並みに合ったデザイン・色調とし、設備機器も低騒音省エネ機器の採用に努め周囲と調和の取れた計画とした。		その他
Q1 室内環境 ●VOC等に関する材料は全てF☆☆☆☆仕様とした。●外部周リ排出しサッシは2重ロックとし、1階防犯フィルム貼とした。又遮音バ-T-2のサッシを採用。●壁及び床の衝撃の遮音性能を高めた。	Q2 サービス性能 ●各居室にはマルチメディアコンセントを採用し、光インターネット回線を設置している。●共用部はバリアフリー対応としている。又専用部内も床段差を設け無い様にしている。	Q3 室外環境(敷地内) ●地域に配慮し、景観指導による、京都らしい外観、色調としている。●可能な限り、植込み部を設置
LR1 エネルギー ●可能な限り開口部を大きく取り、屋上には、4.2kwの太陽光発電システムを設置。	LR2 資源・マテリアル ●地域産地産の木材の使用●有害物質を含まない材料の使用に努める	LR3 敷地外環境 ●外壁仕上材は反射の少ない仕上材を採用し格子等により周りにガラス面の反射を抑えている。●空調機器は低騒音型を採用し、バルコニー内に機器を設置し騒音対策を施している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される